

令和4年度大分県学力定着状況調査 結果総括

令和4年度大分県学力定着状況調査結果総括＜小学校5年＞

国語				佐伯市	大分県	目標値				
教科の正答率	全体	68.7	70.8	66.2	問題の内容別正答率	話し合いの内容を読み取る	75.7	77.0	71.7	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、知識、活用ともに県平均を下回った。</p> <p>○領域別正答率は、「言葉の特徴や使いに関する事項」が県平均を上回ったほかは県平均を下回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に県平均と比較すると、「漢字を書く」「言葉の学習」が全国平均を上回ったほかは県平均を下回った。特に、「調査の結果をもとに話し合う」「文章を書く」内容の問題は、県平均を5ポイント以上下回り、その中でも「理由や事例等を挙げながら表現する」問題は無解答率が24%となった。話し合う、書くといった力に課題があることから、例えば「①伝えたい題材を決め自分の考えをもつ②読み手の立場から主張を見直す③文章の構成を決める④意見文を書く⑤意見文を読み合い互いのよいところを伝え合う」といった活動により確実に表現力を高めたい。また、児童の話す力、書く力の実態を分析するとともに、3・4年の指導事項について活用する場を設け、系統性をもって資質・能力を育成することも大切である。</p>
	知識	74.4	75.5	71.7		漢字を読む	96.5	98.0	85.0	
	活用	55.8	60.4	53.8		漢字を書く	70.3	69.4	68.3	
領域別正答率	言葉の特徴や使い方	75.1	74.6	69.0	言葉の学習	66.6	65.9	64.0		
	情報の扱い方	58.5	61.7	56.7	物語の内容を読み取る	72.3	75.0	71.7		
	我が国の言語文化	63.3	68.5	70.0	説明文の内容を読み取る	70.3	72.9	71.7		
	話すこと・聞くこと	58.8	62.8	60.0	調査の結果をもとに話し合う	33.6	41.4	42.5		
	書くこと	57.7	63.0	52.5	文章を書く	57.7	63.0	52.5		
	読むこと	71.3	74.0	71.7						

算数				佐伯市	大分県	目標値				
教科の正答率	全体	68.0	68.5	63.6	問題の内容別正答率	億と兆・数の表し方	71.8	71.9	67.5	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、知識、活用ともに全国平均を下回った。</p> <p>○領域別正答率は、「変化と関係」が県平均を上回ったほかは県平均を下回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に県平均と比較すると、「わり算・計算のきまり」「分数」「角の大きさ」「簡単な場合についての割合」が県平均を上回ったが、「①面積の単位の関係を説明する」問題は正答率16.8%、「②必要な二次元表の欄を示し、求め方を説明する」問題は正答率19.8%・無解答率14%と課題が残った。①については求積の方法を理解できるようにするとともに面積や単位の感覚を身に付けさせたい。②については、複数のデータから必要なデータを読み取り、取り出すことができるように指導したい。また、説明する問題の無解答率が高いことから、判断した根拠を明らかにしながら説明したり、説明の過不足を児童同士で補う活動をしたりするなどして論理的な説明の組み立てに慣れさせる必要がある。</p>
	知識	73.7	74.1	69.3		わり算・計算のきまり	67.3	66.8	61.7	
	活用	57.1	57.8	52.7		小数	74.9	78.7	72.0	
領域別正答率	数と計算	71.1	71.5	66.1	分数	63.6	63.5	58.8		
	図形	64.3	64.5	62.9	いろいろな形	72.1	72.2	67.5		
	変化と関係	75.1	73.7	68.0	面積	44.2	46.2	51.7		
	データの活用	57.8	59.0	51.3	角の大きさ	86.6	84.2	75.0		
					変わり方調べ	71.6	73.1	67.5		
					簡単な場合についての割合	77.4	74.1	68.3		
					折れ線グラフと表	57.8	59.0	51.3		

理科				佐伯市	大分県	目標値				
教科の正答率	全体	66.1	67.0	62.7	問題の内容別正答率	1年間の植物の成長	72.1	74.4	68.3	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、知識、活用ともに県平均を下回った。</p> <p>○領域別正答率は、全て県平均を下回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に県平均と比較すると、「天気の様子と気温」「動物の体のつくりと運動」「雨水のゆくえと地面の様子」「水のすがた」が県平均を上回ったが、「折れ線グラフをもとに水の量のちがいと沸騰する温度を関連付けて記述する」問題は正答率19.1%・無解答率21.3%と課題が残った。授業の中で実験の目的を明確にして予想をもたせたい。さらに、①予想が確かめられた場合に得られる結果について見直しをもつことができるようにすること、②予想と結果を関連付けながらどんなことがいえるかを自分の言葉で表現することを大切に活動させたい。また、これまで行った実験方法を思い出させたり、使用する実験器具を知らせたりし実験を充実させるとともに、科学的な言葉の意味を的確に捉え、実験観察の過程や結果をノートに説明・記述し振り返る活動も繰り返し行う必要がある。</p>
	知識	74.9	76.0	71.2		1年間の動物の様子	80.3	83.8	82.5	
	活用	47.7	48.2	45.0		天気の様子と気温	61.3	56.7	42.5	
領域別正答率	物質・エネルギー	59.2	60.4	57.9	電気のはたらき	52.4	55.5	45.0		
	生命・地球	71.9	72.4	66.8	動物の体のつくりと運動	83.4	82.1	72.5		
					月と星	63.0	64.1	61.3		
					物の体積と力	67.9	70.5	65.0		
					物の体積と温度	66.4	68.4	65.0		
					雨水のゆくえと地面の様子	69.4	68.9	65.0		
					水のすがた	46.2	44.7	45.0		
				自然の中の水	82.3	84.5	80.0			
				物のあたたり方	67.9	69.9	71.7			

令和4年度大分県学力定着状況調査結果総括<中学校2年>

国語				佐伯市	大分県	目標値					佐伯市	大分県	目標値
教科 の 正 答 率	全体	70.3	69.8	62.5	問題 の 内 容 別 正 答 率	話し合いの内容を聞き取る	74.1	73.7	70.0	<p><結果概況> ○教科の正答率は、知識、活用ともに県平均を上回った。 ○領域別正答率は、「読むこと」で県平均を下回ったほかは県平均を上回った。</p> <p><課題と対策> ○問題の内容別に県平均と比較すると、「漢字を書く」「文法・語句に関する事項」「説明的な文章の内容を読み取る」「文学的な文章内容を読み取る」が県平均を下回った。漢字・文法・語句については、習得を目指した時間を計画的に設定するとともに、同音異義等、漢字のもつ特色についても指導する必要がある。また、「話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる」問題は正答率38%・無解答率12%、「自分の考えが明確になるように話の構成を考える」問題は無解答率が16.6%と課題が残った。日常の授業において、話題の展開を促しながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる活動やそれぞれの情報がどのような関係にあるのか着目し整理する活動を取り入れたい。さらに複数の意見を結び付けて自分の考えをつくり上げていく力も付けていきたい。</p>			
	知識	74.7	74.5	66.8		漢字を読む	88.0	85.4	76.7				
	活用	61.8	61.0	54.4		漢字を書く	71.5	71.9	66.7				
領域 別 正 答 率	言葉の特徴や使い方	76.3	76.0	67.2		文法・語句に関する事項	75.7	76.1	65.0				
	情報の扱い方	49.7	48.8	45.0		説明的な文章の内容を読み取る	51.3	52.3	48.3				
	我が国の言語文化	94.1	92.6	85.0		文学的な文章内容を読み取る	70.4	71.5	65.0				
	話すこと・聞くこと	65.1	64.1	60.0		こまごまについてスピーチをする	56.1	54.4	50.0				
	書くこと	72.5	70.9	58.8		文章を書く	72.5	70.9	58.8				
読むこと	60.8	61.9	56.7										

社会				佐伯市	大分県	目標値					佐伯市	大分県	目標値
教科 の 正 答 率	全体	60.4	57.3	56.5	問題 の 内 容 別 正 答 率	世界の姿	67.5	67.2	65.0	<p><結果概況> ○教科の正答率は、知識、活用ともに県平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で県平均を上回った。</p> <p><課題と対策> ○問題の内容別に県平均と比較すると、正答率は全ての内容で県平均を上回った。特に、「世界各地の人々の生活と環境」では、県平均を5ポイント上回り定着・習熟に向けた取組の成果が出たといえる。しかし、「武士の成長について、複数の資料をもとに考察し、表現する」問題は、正答率15.5%・無解答率28.4%と課題が残った。例えば「①複数の資料を読み取る(個人)②複数の資料から共通点を見出す(個人)③共通点と既習内容を結び付けて考察する(個人)④考察したことを適切に文章で表現する」等の活動をする中で、情報を取り出し、考え、表現する力を身に付けさせたい。日常の授業の中で、取り出した情報等を関連付けて、条件に沿って考察し、記述する」といった段階を踏み、生徒の実態を把握しながら指導していく必要がある。</p>			
	知識	63.7	60.4	59.3		日本の姿	65.5	61.6	55.0				
	活用	52.5	50.0	50.0		世界各地の人々の生活と環境	74.8	69.8	70.0				
領域 別 正 答 率	地理	60.2	56.8	55.6		世界の諸地域	48.6	44.8	45.7				
	歴史	60.5	57.8	57.5		縄文時代～古墳時代	69.5	66.5	66.0				
						飛鳥時代～平安時代	63.5	62.6	62.5				
						中世の日本	49.1	45.3	45.0				

数学				佐伯市	大分県	目標値					佐伯市	大分県	目標値
教科 の 正 答 率	全体	62.1	60.9	58.8	問題 の 内 容 別 正 答 率	正の数・負の数	76.7	76.0	70.0	<p><結果概況> ○教科の正答率は、活用が県平均を下回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で県平均を上回った。</p> <p><課題と対策> ○問題の内容別に県平均と比較すると、正答率は全ての内容で県平均を上回った。しかし、「示された模様どうしの関係を、回転移動を用いて説明する」問題は正答率29.3%・無解答率22.1%と課題が残った。「回転移動、回転の中心、回転の向き」等の数学的用語を用いた数学的表現を用いて筋道立てて説明する活動を充実させたい。また、そのほかの「説明する」問題も無解答率が高くなる傾向があることから、不十分な説明の場合「何が足りないのか」等を生徒に問い直し生徒に補足させたり、「①根拠となる考えを示し方針を明確にする②取り出した情報を整理し計算等を行う③考えにつながる計算や説明を行う④答え(考え)を導き出す」といった「説明の基本形」等を活用し、見通しを共有した上で説明活動を取り入れたりしていく必要がある。</p>			
	知識	65.5	63.6	60.2		文字式	62.4	60.8	55.0				
	活用	53.1	53.8	55.0		1次方程式	75.0	72.8	67.5				
領域 別 正 答 率	数と式	72.6	71.1	65.4		比例・反比例	57.4	56.8	50.0				
	図形	59.2	57.6	57.2		平面図形	57.0	55.5	56.0				
	関数	57.4	56.8	50.0		空間図形	62.0	60.3	58.8				
	データの活用	50.2	49.6	56.7		データの分布の傾向	50.2	49.6	56.7				

理科				佐伯市	大分県	目標値					佐伯市	大分県	目標値
教科 の 正 答 率	全体	54.4	54.5	54.8	問題 の 内 容 別 正 答 率	植物の分類	72.3	72.4	63.3	<p><結果概況> ○教科の正答率は、全体、活用が県平均を下回った。 ○領域別正答率は、「粒子」「生命」で県平均を上回り「エネルギー」「地球」で県平均を下回った。</p> <p><課題と対策> ○問題の内容別に見ると、「植物の分類」「物質の状態変化」「光の性質」「地層」「地震」が県平均を下回った。問題別に見ると「尿素の結晶が出てきた理由を、尿素の溶解度から分析する」問題は正答率20.7%・無解答率46.6%と課題が残った。表の数値を読んでいるだけで分析・考察に至っていないものが多いことが考えられる。探究のために必要な観察・実験等の基本的な技能(測定方法、データの処理等)を確実に身に付けさせるとともに、現象が現れる理由を教師の問いかけや対話を通して、調べたデータと結果を基に考察できるようにしたい。その際、生徒自身が自然の事象に働きかけ、問題を見出して課題を設定し科学的に追究する活動を計画に実施することや自分や他者の考えを検討したり、改善したりして自分の考えを科学的に表現していくことを大切にしたい。</p>			
	知識	60.3	60.0	58.9		動物の分類	73.3	72.5	68.3				
	活用	40.9	41.8	45.5		身の回りの物質とその性質	75.6	74.1	65.0				
領域 別 正 答 率	エネルギー	53.2	53.6	55.0		気体の性質	61.0	60.3	55.0				
	粒子	52.2	51.1	52.5		水溶液の性質	27.6	25.2	40.0				
	生命	72.6	72.4	65.0		物質の状態変化	52.2	53.2	55.0				
	地球	35.4	37.1	45.0		光の性質	43.1	46.6	48.3				
						音の性質	85.1	81.2	75.0				
				力の性質		36.6	36.4	45.0					
				火山		35.8	35.4	40.0					
				地層	21.5	23.7	40.0						
				地震	56.0	58.8	57.5						

英語				佐伯市	大分県	目標値					佐伯市	大分県	目標値
教科 の 正 答 率	全体	57.6	55.3	55.8	問題 の 内 容 別 正 答 率	リスニング(内容理解)	55.3	53.7	56.7	<p><結果概況> ○教科の正答率は、知識、活用ともに県平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で県平均を上回った。</p> <p><課題と対策> ○問題の内容別に県平均と比較すると、「リスニング(対話文の応答)」で県平均を7.7ポイント上回り定着・習熟に向けた取組の成果が出たといえる。一方、「語彙・語法の知識・理解」「語彙の知識・理解」「さまざまな英文の読み取り」が県平均を下回った。問題別に見ると、「英文を聞き取り、たずねられたことに対して自分の考えを英語で答える」問題は、正答率が20.4%・無解答率が28.9%と課題が残った。問いかけの答えになっていないことや文法事項等の誤りから伝えたい内容が理解できていないことが考えられる。①目的を持って英語を聞くことを繰り返す②できるだけ1回で聞き取れる力を付けていく③英語を聞き内容を理解する活動を繰り返すとともに、聞いてすぐに話したり書いたりする姿を目指す 等をポイントとして、複数の領域を関連づける総合的な指導を行う必要がある。</p>			
	知識	59.5	57.2	57.2		リスニング(対話文の応答)	61.0	53.3	55.0				
	活用	53.4	50.9	52.5		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	54.7	50.6	66.0				
領域 別 正 答 率	聞くこと	57.0	52.5	57.2		語彙・語法の知識・理解	51.1	51.4	55.0				
	読むこと	59.5	59.5	60.4		語彙の知識・理解	90.1	90.3	87.5				
	書くこと	55.5	51.7	48.0		さまざまな英文の読み取り	56.4	57.2	58.8				
						長文の読み取り	55.9	54.6	53.8				
						単語の並べ替えによる英作文	68.2	67.6	62.5				
				場面に応じて書く英作文		43.3	38.6	40.0					
				情報に基づいて書く英作文		48.5	43.7	43.3					
				3文以上の英作文	62.3	57.9	48.3						